

売上

(16/4Q)

■ 連結売上高: 92.9億円 (前期比1.2%増)

- ・主力の“Wish upon a star”の売上が前年比21.6%増と引き続き好調で増収に寄与。
- ・年明け以降の消費環境悪化と熊本地震の影響により16/3Q会計期間では減収。

利益

(16/4Q)

■ 連結売上総利益: 58.7億円 (前期比1.8%増)

- ・在庫処分施策を拡大も“Wish upon a star”の構成比拡大により、粗利率が0.4ポイントUP。
- ・ベトナム子会社製品での売上構成比は46.1%となり、商品原価率の低減に寄与。

■ 連結営業利益: 2.1億円 (前期比71.4%増)

- ・売上総利益の増加に対して販売費及び一般管理費が横ばいで営業利益は改善。
- ・グループマネジメント体制の強化による海外事業の成長が奏功し、連結業績に寄与。

17/8月期 通期予想

■ 連結売上高: 96.0億円 (前期比3.3%増)

■ 連結営業利益: 2.5億円 (前期比15.4%増)

- ・「中期5ヵ年計画」の2年目として、基盤整備や成長戦略による大型投資を実行も、足元では各種施策の着実な実行により増収増益を見込む。

決算概要

1. 連結業績(経営成績)

業界内競争の激化に加え宝飾需要の低迷など逆風がある中、
継続課題は残るものの、成長戦略投資・育成の着実な進展で業績は改善

<経営成績(連結)>

(単位:百万円)

	2015/4Q (累計)	売上 構成比	2016/4Q (累計)	売上 構成比	前期比 増減率	前期比 増減額
売上高	9,184	100.0%	9,297	100.0%	1.2%	112
売上総利益	5,769	62.8%	5,873	63.2%	1.8%	103
販売費及び 一般管理費	5,643	61.4%	5,656	60.8%	0.2%	12
営業利益	126	1.4%	216	2.3%	71.4%	90
経常利益	113	1.2%	154	1.7%	36.8%	41
当期 純利益	15	0.2%	29	0.3%	92.9%	14

売上高は、“Wish upon a star”を基軸としたプロモーション施策の継続推進により、前期比1.2%の増加。

利益面は、費用が前年並みにもかかわらず増収となったことに加え、売上総利益が前年同期比1.8%増加したことから、営業利益は大きく改善。

海外事業は、販売部門の台湾子会社が堅調に推移したことに加え、生産部門となるベトナム子会社もSPA企業としての中核に成長。

2. 連結業績(財政状態)

「現金及び預金」、「繰延税金資産」、が増加したため、
総資産は前期比143百万円の増加

(単位:百万円)

		2014/4Q	2015/4Q	2016/4Q	前期比 増減額
資産	流動資産	4,908	5,497	5,677	179
	固定資産	1,179	1,426	1,392	△34
	繰延資産	5	3	1	△2
	合計	6,093	6,926	7,070	143
負債	流動負債	3,693	3,723	4,260	537
	固定負債	952	1,729	1,399	△330
	合計	4,646	5,453	5,659	206
純資産	株主資本	1,445	1,437	1,443	6
	その他	2	36	△33	△69
	合計	1,447	1,473	1,410	△63
負債純資産合計		6,093	6,926	7,070	143

「現金及び預金」が199百万円増加したことが要因。
一方で「商品及び製品」に関しては、「Wish upon a star」の売上伸長に伴う同商品の在庫積み増しに対してその他過去在の処分を実行したため、前期と同水準で推移。

「短期借入金」が331百万円増加、「未払法人税等」が98百万円増加したことに対して「社債」が100百万円の減少、「長期借入金」が395百万円減少したことが要因。

「利益剰余金」が6百万円増加したことに対して、円高に伴い「為替換算調整勘定」が59百万円減少したことが要因。

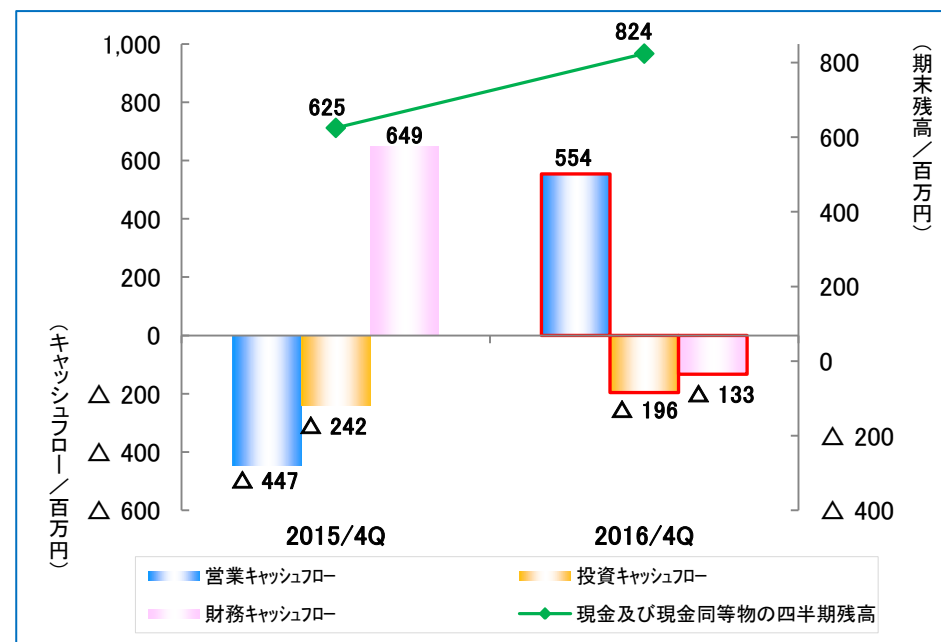
「利益剰余金」は増加も、円高に伴う「為替換算調整勘定」の減少が影響し、自己資本比率は19.6%となり、前期同期に比べ1.4ポイントの減少。

3. 連結業績(キャッシュフロー)

営業活動により554百万円の資金を獲得し、投資活動で196百万円、財務活動で133百万円の資金を支出した結果、期末残高は824百万円に増加

(単位:百万円)

	2015/4Q (累計)	2016/4Q (累計)	増減額
営業 キャッシュフロー	△447	554	1,002
投資 キャッシュフロー	△242	△196	46
財務 キャッシュフロー	649	△133	△783
現金及び現金同等物に 係る換算差額	11	△25	△37
現金及び現金同等物の 増減額	△28	199	227
現金及び現金同等物の 期首残高	654	625	△28
現金及び現金同等物の 期末残高	625	824	199



- 営業キャッシュフローは、「税前当期純利益」の増加に加え、在庫処分による「たな卸資産」の増加抑制で554百万円のプラス。
- 投資キャッシュフローは、新規出店や店舗改装に伴う設備投資で使用了資金が主な要因となり196百万円のマイナス。
- 財務キャッシュフローは、長期借入金の返済や社債の償還による支出が要因となり133百万円のマイナス。